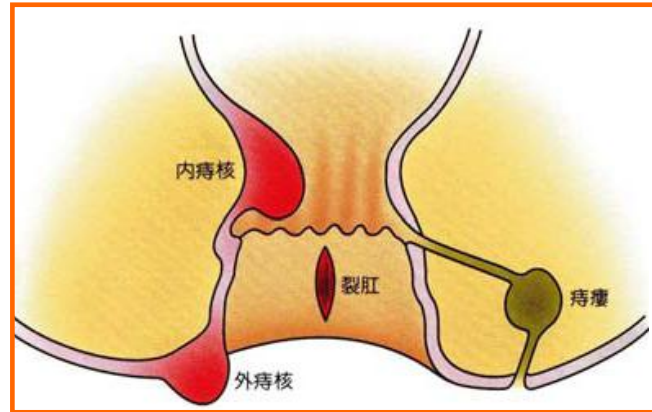


1. 痔の症状と種類

痔の症状

肛門痛	排便時の痛み
出血	鮮血の出血
脱肛	肛門からでっばる など

痔の種類 : 痔には種類がありタイプによって治療法も異なります。まずは専門医の診察を受けましょう。
 内痔核・・・肛門の中にできる痔、出血+大きくなると脱肛する
 外痔核・・・肛門の外にできる痔、出っ張った感じが強く、痛むことが多い
 裂肛・・・いわゆる切れ痔、排便時の痛みと出血
 痔瘻(じろう)・・・痛み、膿がでる など



2. 痔の治療法

タイプにもよりますが大部分の方は排便習慣の改善や投薬などの内科的治療により症状がなくなります。恥ずかしがらずにまずは診察を受けてみましょう。正しい治療を受けないためひどくなったり繰り返す方も珍しくありません。手術が必要な方は
 ○3度以上の内痔核・・・脱肛が常に起き自然にもどらない(指でもどす)
 ○痔瘻による感染(肛門周囲膿瘍)を繰り返す
 ○裂肛を繰り返し肛門が狭い
 などで痔で来院される方のうちの1~2割程度です。

3. 脱肛する内痔核の治療法

痔の手術を受ける方の大部分が脱肛する内痔核の患者さんです。このタイプの方に対する治療法は色々な種類があります。

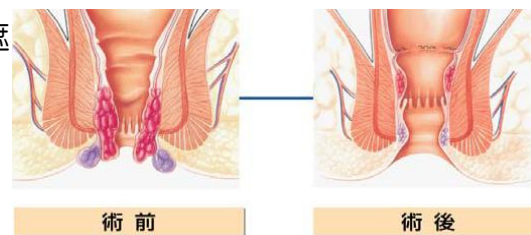
【結紮切除法】

以前から行われている切り取る手術、それぞれの程度に合わせてアレンジできる上あらゆるタイプの痔核に応用可能。術後の痛みを軽減するため最近では半閉鎖法が主流です。以前より術後の痛みは少なくなっています。《4~7日程度の入院》

【PPH法】

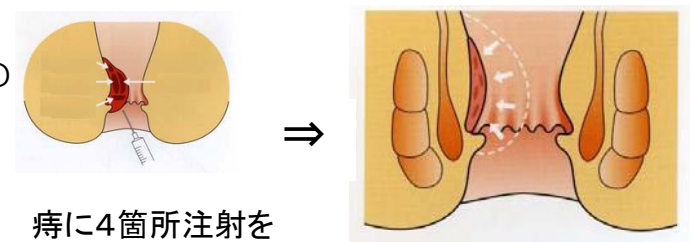
専用の器械を使用し痛みの感じない直腸だけを処置します。痔に注ぐ血管を遮り粘膜を切除して吊り上げることで脱肛がなくなります。

- 特徴①手術が簡単で短時間(15~20分)
 ②手術後痛みがほとんどない、肛門に傷が残らない
 ③入院期間が短くてすむ(3~5日程度)



【ジオン注射 (ALTA療法)】

注射により組織を硬化させ痔を小さくして脱肛、出血を治療します。手術と同等の治療効果(有効率90%以上)がある上、短時間で負担が少ないので短期間の入院(1泊2日程度)で治療可能です。注射に使用するジオンはH17年に発売された新しい薬ですが、日本では既に8万人以上の方が治療を受けています。



出血がとまり、徐々に痔が小さくなり1週間から1ヶ月で脱出しなくなります。

当院では痔のタイプや程度、ご本人の治療にかけられる期間により最も適切な治療法をお勧めしております。一回の診察は5分程度で痛みの強い方には無理な診察はいたしません。痔でお悩みの方はお気軽にご相談ください。

